

# 生物多様性イベント

## 「京葉臨海埋立地の緑化と生物多様性」を開催

平成24年10月27日(土)、環境緑化適応試験地(旧千葉県環境緑化センター、袖ヶ浦市長浦)において生物多様性啓発イベントが開催されました。主催は京葉臨海埋立地の生物多様性を考える会(会長 富谷健三)とNPO法人 ちば里山センター(理事長 金親博榮)で、自然観察指導員、森林インストラクター、樹木医が協力して生物調査を行いました。

午前中に「緑化と生物多様性」と題し、千葉県環境生活部自然保護課 生物多様性センター 副技監 中村俊彦博士に講演いただきました(写真1)。

午後はまず、パワーポイントを使用して石谷栄次アドバイザーが試験地の歴史と環境条件を紹介し、その後に木本植物、草本植物、昆虫、野鳥に分かれて野外自然観察を行いました。

その1 木本植物(写真2)

樹木観察というよりは、モデル林の説明と樹木にとっての厳しい生育環境の説明を行いました。

その2 草本植物(写真3)

草本植物は花の時期が観察に適していますが、今は少し遅く、観察が難しいです。外来植物が多く観察されましたが、中にはカンアオイやシュランのような内陸の種類も観察されました。

その3 昆虫(写真4)

気温によって出現数が大きく変化します。今日は



写真1 中村博士の講演



写真2 樹林の観察

暖かく快晴の天気だったので、チョウを観察することができました。生物調査では約360種の昆虫を観察することができ、そのうち、コウチュウ類が79種でした。

その4 野鳥(写真5)

野鳥は観察が難しい生物で、今回はヒヨドリの生態観察のようになってしまいました。それでも、蔵波川にはカモ類が飛来しており、オオバンも確認されました。

最後に多方面に呼びかけ、里山活動グループ、森林インストラクター、樹木医、自然活動団体など約60名の参加で開催できました。



写真3 草本植物の観察



写真4 昆虫の観察



写真5 野鳥の観察